



もくじ

2	3月定例会概要・議案審議質疑
4	一般質問
10	予算特別委員会
13	臨時会
14	常任委員会等の活動報告
15	陳情審査
16	ちよつと一言、議会の動きほか

はなまき市議会だより

花の風

第83号

令和7年5月1日

議案審議

可決 財産(土地)の処分について

花南産業団地B工区の2区画 32,371.11㎡を事業用地として4億463万8,875円で岩手雪運株式会社に売却するもの。

質疑

- 質問…現在の岩手雪運の事業所は土地を借りて整備したもののだが継続使用するのではなく完全移転ということか。
- 答弁…現在の土地は借地であり、自社保有地の確保と事業拡大のために用地を取得するもの。なお、現在の施設については、有効活用可能な事業所への賃貸を検討していると聞いている。



可決 花巻市手数料条例の一部を改正する条例

建築基準法及び建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律並びに岩手県手数料条例及び建築基準法施行条例の一部改正に伴い、手数料について所要の改正をしようとするもの。

質疑

- 質問…令和7年4月から行われる建築基本法の改正と建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律が完全施行されることに伴う手数料の変更か。また、大きな変更となるが周知はどう考えているか。
- 答弁…建築物のエネルギー消費性能の向上について、建築物に関する審査事務が新たに追加され建物の広さに応じて県や市で分割されている部分が見直された。それに伴い手数料が新たに設定された。周知については、令和4年6月に公布されてから、国で資料配布、解説動画の配信、講習会の実施が行われている。

賛否が分かれた議案等の審議結果

陳情 1		新花巻図書館整備特別委員会等の設置を求めることについて																								
会派名	明和会								はなまき 市民クラブ				緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻 市議会議員団			会派に 所属しない		審議結果		
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市		菅原ゆかり	
陳情 1	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	●	●	不採択

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

【表紙写真について】

タイトル 「Let It Be」
メッセージ "There will be an answer, let it be."
答えは、風と光と春の中にある。いまは、ただ歩いてゆこう。

3月定例会 提出された36議案を可決

令和7年第1回花巻市議会定例会は2月26日開会、3月19日までの22日間の日程で開かれました。
初日の本会議では、市長施政方針および教育長演説が行われ、提出議案の説明がなされたほか、令和7年度花巻市予算は、議長を除く全議員で特別委員会を設置し、審査することとしました。
3月3日から3月6日までは一般質問に16人が登壇し、市政課題について質問しました。
3月7日には議案審議を行い、花巻市副市長に八重樫和彦氏、花巻市教育委員会委員に中村弘樹氏とする議案を含む全議案を原案のとおり可決しました。また、議会運営委員会委員長より花巻市議会委員会条例の一部を改正する条例など3議案が発議され、全会一致で可決しました。
3月12日から14日までは予算特別委員会が開かれ、令和7年度花巻市一般会計予算および各特別会計予算等について原案のとおり可決しました。また、最終日には、令和6年度花巻市一般会計補正予算(第15号)についてなど2議案が追加提案され、原案のとおり可決しました。
主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

可決 令和6年度一般会計補正予算(第14号)



審議の様子は
こちら

7億9,559万円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれを635億5,075万4千円とするものです。
※市議会が注目した主な補正予算は次のとおりです。

◆義務教育学校建設費 1億1,561万3千円

- ・・・矢沢地区義務教育学校を整備するための学校用地が不足することから、用地取得費を計上するもの

質疑

- 質問…グラウンドや体育館、プールなど各施設を低学年と高学年でどのように使い分けるのか、授業の仕方について伺う。
- 答弁…各施設については必要な改修等を行い、義務教育学校9学年一緒の時間割の中で使い分けていく。矢沢地区の義務教育学校の校舎については基本設計の段階であり、確定ではないが現在の中学校校舎を長寿命化し、新しい校舎を増築する方向で検討している。

◆指定管理者による田瀬湖オートキャンプ場及び花巻市釣り公園管理
休憩施設の管理運営業務(令和6年度) 7,253万7千円(債務負担行為額)

- ・・・施設の指定管理業務について、期間を令和6年度から令和11年度までとし、管理運営業務委託料の限度額を設定するもの

質疑

- 質問…田瀬湖オートキャンプ場および釣り公園の指定管理者が変更となるが、指定管理料は変更前と比べてどの程度増額になるのか。
- 答弁…釣り公園の指定管理料は年間317万2千円から年間908万円となり590万8千円の増額。オートキャンプ場の指定管理料は年間140万1千円から年間603万円となり462万9千円の増額となる。これまで草刈り等地域住民の方々にご協力いただいていたが、今回の変更に伴い、地域外の事業者による管理となるため、必要な経費を適切に積算した結果である。

一般質問

Q 上田市長の3期目の任期も1年を残すところとなった。これまでの評価を伺う。また地方自治の本旨、特に住民自治、市民参画について所感を伺う。

A 公約に掲げた5つの柱、その施策事業に未着手や達成が不可能な事業はないと考えている。今後も各事業を推進し、期待される成果を生み出すよう着実に進めたい。

市民参画について、前の段階ではマニュアル上はまだ市民参画手続きにある段階ではなかった。良くないという反省はある。した

■選挙公約について



いとう せいこう
伊藤 盛幸 議員

がつて、今の段階では例えば図書館についても、住民の意見を聴くということ徹底するため市民会議を開催した。そこはご理解をいただきたい。

■新花巻図書館について

Q 市民会議の成果を伺う。

A 市民会議への応募者75人中、2回以上参加が67人、一度も参加できなかったのは6人。参加者の感想に「多くの市民がお互いの意見に耳を傾け、納得する形で対話を終えることができた」とあり、市では参加者の意見を重く受け止め、判断材料として尊重したい。



■地域おこし協力隊について

Q 地域おこし協力隊の特徴的な活動および退任後定住に結びついた人数、どんな分野で活躍しているか伺う。

A 「大迫でぶどう栽培技術を磨いて、ぶどう農家として就農」をテーマとして5名が活動するなど様々取り組んでいる。令和7年2月までに退任した21名の内、定住した方は14名、県外への移住が7名となっている。退任後は、一棟貸の宿の開設に向けた取り組みなど、培った知識と経験を活かしそれぞれの分野で活躍している。

■職員数の実態について

Q 令和6年度の職員数および会計年度任用職員の職種毎、勤務実態毎の人数を伺う。

A 正職員数は再任用職員を含め911名、内訳は行政職688名、消防職145名、労務職78名であり、正職員数はほぼ横ばいである。また、会計年度任用職員数は、510名で、内訳は行政職が450名、それ以外のうちフルタイムが116名、パートタイムが286名、それ以外の勤務形態が48名、労務職が60名、うちフルタイムが24名、週30時間のパートタイムが28名、それ以外の勤務形態の職員が8名である。



わかやなぎ よしあき
若柳 良明 議員



もとだて けんいち
本館 憲一 議員

■新花巻図書館整備 駅橋上化とワンセットについて

Q 新図書館が橋上駅と通路で繋がっているイメージ図の存在が明らかになった。JR花巻駅橋上化整備と新図書館はワンセットではないのか。見解を伺う。

A 新図書館と駅橋上化整備はワンセットではない。新たに創設された国の都市構造再編集支援事業では、それぞれ単独整備した場合であっても補助対象となることが可能となった。駅近くのJR所有地に図書館を建設するということが決まっているわけではない。そのことはJR東日本はよく理解している。

■新花巻図書館整備 駅前住民への説明について

Q 花巻駅前商店街の方々は、駅橋上化に関しては早期実現を働きかけた。しかし図書館の駅前立地に関しては、そうした働きは伝わっていない。駅前立地に関して、地元の住民に具体的にどのような説明をしたのか伺う。

A 具体的に全部を掴んではないが、市民説明会は駅前の住民も含めて対象にしている。市民説明会でその部分について発言したいという方がいた場合には、出てきた可能性はあるだろうとしか申し上げられない。



Q 岩手県地方税特別滞納整理機構による搜索の際、警察官が同行した法的根拠を伺う。

A 同機構は平成19年度の税源移譲により市町村が徴収する税金が増額されることを契機に、平成18年10月に県庁総務部税務課内に設置された。差し押さえの際、国税徴収法による強制調査が認められており、その適正な執行のため本人等の立会人が必要とされている。拒否等の際、警察官などの立ち合いが必要となることから、必要と判断した際に依頼している。



くぼ たしょうこう
久保田彰孝 議員

■税金の滞納と差し押さえについて

Q 物価高騰に賃上げが追いつかない現状をどのように捉えているのか伺う。

A 市等で実施した調査から、大規模な事業所では、物価上昇を上回る賃上げとなっているものの、中小企業は、価格高騰による経営への影響を受けやすいこと、価格転嫁による取引適正化が難しいことなどから、賃上げを実施してはいるものの物価上昇を上回るまでに至っていないと推測している。「賃金と物価の好循環」となり、経済全体が成長するサイクルを期待する。



一般質問

3月定例会では、16人の議員が登壇し、市政全般について質問を行いました。

令和7年第1回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）	
本館 憲一 議員 （はなまき市民クラブ）	①新花巻図書館整備について
伊藤 盛幸 議員 （緑 の 風）	①選挙公約について ②新花巻図書館の整備について
若柳 良明 議員 （社民クラブ）	①地域おこし協力隊について ②コミュニティ会議について ③職員数の実態について
久保田彰孝 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①税金の滞納について ②中小企業支援について
及川 恒雄 議員 （明 和 会）	①中山間地域等直接支払制度について ②道路整備について ③障がい者就労支援について
佐藤 現 議員 （はなまき市民クラブ）	①障がいのある人もない人も共に学び共に生きる花巻市まちづくり条例の制定について ②5歳児健康診査について
鹿討 康弘 議員 （緑 の 風）	①「野球タウン（※P6参照）」聖地巡礼と観光振興について ②総合花巻病院について
阿部 一男 議員 （社民クラブ）	①市長施政方針について ②農業問題について ③総合花巻病院について
照井 明子 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①子ども・子育て支援について
藤根 清 議員 （明 和 会）	①スポーツ振興について
羽山るみ子 議員 （はなまき市民クラブ）	①旧総合花巻病院跡地について ②新花巻図書館について ③総合花巻病院について
小森田郁也 議員 （緑 の 風）	①就農者の確保について ②ふるさと納税の使途の見える化について ③介護人材の確保と定着について
櫻井 肇 議員 （日本共産党花巻市議会議員団）	①高額療養費の上限額引上げについて ②水田活用の直接支払交付金について ③高齢者世帯等除雪支援事業について
似内 一弘 議員 （緑 の 風）	①移住定住の推進について ②インバウンドの推進について ③健康寿命延伸の取組について
佐々木精市 議員 （会派に所属しない）	①窓口業務について ②地球温暖化対策について ③核兵器廃絶に向けた取組について
菅原ゆかり 議員 （会派に所属しない）	①子育て支援について ②オストメイト（※P9参照）に対する理解の促進について ③小中学校体育館について



おいかわ つねお 議員

■中山間地域等直接支払制度について

Q

6期対策の変更内容
と今後の取り組み集落
数、また、内容変更によ
り事業に影響が出る集
落への継続に向けての
方策について伺う。

A

変更点は大きく3
点、「集落戦略の作成」
から「ネットワーク化
活動計画の作成」への
変更と「集落協定広域
化加算」と「生産性向上
加算」の廃止、「ネット
ワーク加算」と「スマー
ト農業加算」の新設で
ある。令和7年度を最
後に3つの集落協定か
ら活動を取り止める意
向があったことから、
各集落の事業継続に向
けては制度の周知を図



りながら相談に対し県
と確認しながら助言を
行っていく。

■道路整備について

Q

主要地方道北上東和
線、一般県道花巻田瀬
線の重要性和改良整備
について伺う。

A

主要地方道北上東和
線は通勤や中部病院へ
の救急搬送等アクセス
道路として、一般県道
花巻田瀬線は田瀬湖で
の各種大会やワカサギ
釣りなどの観光道路と
してどちらも重要な路
線と認識している。改
良整備について県に対
し粘り強く要望する。

■花巻市独自の条例
制定について

Q

昨年9月定例会で採
択となった請願「障が
いのある人もない人も
共に学び共に生きる花
巻市まちづくり条例」
の検討状況を伺う。

A

岩手県身体障害者福
祉協会、花巻市身体障
害者福祉協会との意見
交換を実施したところ
であり、今後も両団体
および市内各障害福祉
団体と意見交換を進
め、県外市町村からの
情報収集を行い花巻市
独自の障がいのある人
もない人も共に学び共
に生きる花巻市まちづ
くり条例制定の必要性
について検討したい。



さとう げん 議員

■5歳児健康診査に
ついて

Q

昨年6月定例会で採
択となった請願「5歳
児健康診査」の実施見
込みについて伺う。

A

5歳前後は対人関係
や言葉の遅れなどの特
性が確認されやすい時
期である。子どもの特
性を早期に発見、特性
に合わせた適切支援を
行うため5歳児健診は
必要と認識している。
しかし、すでに乳幼児
健診を市内、北上市の
小児科医に協力いただ
いている中、さらに負
担が重くなる。今後も
医師会、保育園等の関
係機関と協議のうえ5
歳児健診の在り方につ
いて検討を進める。



しioushi けんりゅう 議員

■「野球タウン（※）聖地巡礼
と観光振興について

Q

花巻南ICから花巻
東高校までの「市道花
巻南インター中北万丁
目線」の歩道整備が不
十分。景観と安全確保
の対応について伺う。

A

特に雑草繁茂が著し
い花巻南ICから花巻
南高校までの当該区間
は、令和6年度に2回
の除草作業を実施し
た。しかし雑草の成長
が想定以上に早く、歩
道への浸食を防ぎされ
なかった。今後は、草刈
り回数を増やすと共に
土が堆積し雑草が繁茂
し易い環境となってい
ることから除草作業の
ほか路面清掃車を使用
した清掃を行う予定。

■総合花巻病院への
経営支援について

Q

将来的な医療体制に
向けた具体的な方策と
医師確保も含めた支援
の在り方に一定の線引
きや枠組みが必要と思
うが市の方針について
伺う。

A

令和6年11月に金融
機関への弁済計画やガ
バナンス強化を含む改
定事業再生計画が成
立。経営改善には経営
体制の刷新と医師の確
保が重要であり、令和
7年度予算に1858
万円を計上した。全国
的に民間病院の赤字問
題があるため支援の枠
組みは必要だが、基幹
病院の後方支援として
総合花巻病院の存続は
重要。また、新理事会へ
の理事派遣は現時点で
考えていない。



あべ かずお 議員

■農業問題について

Q

オーガニック農作物
の安心・安全。健康確保
のために、消費者に対
する啓発についてどの
ような対策を考えてい
るのか伺う。

A

昨年11月27日に農業
者や農業法人等と共に
オーガニックビレッジ
宣言を行った。今後、花
巻市有機農業実施計画
に基づき、取り組みを
始める。令和7年度は、
引き続き講演会および
マルシェの開催をする
ほか、スーパー等に販
売所を設置する働きか
けを予定。今後もSN
S、各種パンフレット
等さまざまな媒体を活
用する。



Q

農業者は農業資材高
騰のもと、厳しい経営
状況に置かれている。
市独自の農業支援に取
り組まないか伺う。

A

国の物価指数調査で
は令和2年を100と
した場合、令和5年4
月122、令和6年12
月120と下落してい
る。肥料は令和5年
4月に最高の155で
その後は下落傾向にあ
る。市は稲作農家、畜産
農家、園芸生産農家に
各種補助事業を実施し
ている。市は資材の価
格動向や農畜産物の販
売状況を収集し、国県
の支援策を踏まえなが
ら対応を検討する。

■学校給食費負担軽減
の取り組み継続を

Q

子ども・子育て支援
事業計画における学校
給食費負担軽減事業は
継続して取り組むべき
ではないか。

A

近年の食材や燃料費
の価格高騰は、子育て
環境に相当の影響を及
ぼしている。市では、価
格高騰に伴う学校給食
費の上昇による保護者
負担を軽減するため、
令和5年度・6年度と
支援し、保護者負担は
据え置きとした。令和
7年度は、年間で約6
700万円の上昇が見
込まれるが、国の交付
金を活用し、子育て世
帯の経済的負担の軽減
策として取り組む。



てるい めいこ 議員



■市独自の保育士配置
基準設定について

Q

埼玉県富士見市では
1歳児、3歳児、4歳児
の独自の基準を設け、
予算措置をしている。
市独自の配置基準の
拡充について伺う。

A

本市の現状として、
保育士が不足している
ことにより待機児童が
発生しており、さらに
保育士が不足し、待機
児童が増加することが
予想され難しい。市で
は単独の負担で保育士
確保・保育所等受入促
進事業を行っており、
年度当初から9月まで
の期間、国の配置基準
以上に保育士を雇用し
た施設の運営者に対し
人件費補助をしている。



ふじね きよし 議員

■スポーツ振興につ
いて

Q

大規模スポーツ大会
の開催は、地域活性化
また本市の競技スポー
ツの活躍の勢いの後押
しになると考えるが今
後の取り組みについて
伺う。

A

はなまきスポーツコ
ンベンションビユー
ローを主に、大規模大
会やスポーツ合宿の誘
致を行い、競技スポー
ツ・生涯スポーツの推
進を図っている。関心
を高め競技力向上につ
なげるため、全国規模
の大規模な大会の開催
に努めている。

Q

岩手県と盛岡市共同
で建設整備された「き
たぎんボールパーク」
のように、老朽化した
岩手県営体育館の建設
が進められる場合、本
市への建設誘致に取り
組む考えはないか伺
う。

A



県側は市町村に充実
した機能を備えた施設
が複数あり、担う役割
や今後の改修状況等につ
いて将来人口の展望
や県財政を踏まえ維持
改修等が望ましいとし
ている。本市としては
現在の施設の規模で不
足はない。また、財政的
にも相当な金額の負担
があり現段階では建設
誘致は困難と考える。



こはやま 羽山るみ子 議員

■旧総合花巻病院跡地について

Q

新花巻図書館建設候補地比較調査報告書では災害警戒区域等が示されていた。市有地における災害リスクの除去について、早急な対応が必要と考えるが、市の見解を伺う。

A

直ちに当該土地を利用しない限り、災害リスクを除去するための工事等を行う必要はないものと考えている。現在は、関係者以外の立ち入りを禁じているところであり、さらなる安全対策が必要になった場合には、対策を講じていく。



■新花巻図書館について

Q

比較調査資料で示された駅前建設案に対して駅前周辺の方々から反対の声が出ている。具体的なお問題を地元の方々と話し合う機会を持たないのか。地元が置き去りになっている現状について市の見解を伺う。

A

地元の方の意見があるのであれば、説明する必要があるかと思う。今後、市民参画の手続きを取り市民説明会を行い、市民の意見を聞いて図書館の建設に繋げていきたい。

■就農者の確保について

Q

雇用就農希望者と事業者とのマッチング支援および経営体の課題への支援について伺う。

A

市内では花巻農協の無料職業紹介所「アグリワーク」がマッチングを支援し成果を上げている。経営体の課題である農閑期の労働需要確保や高度人材の需要などに対し、国や市の補助事業に加え、関係機関と連携し専門家の派遣や巡回指導を通じた支援を行っている。引き続き農業法人等の経営安定化に向け取り組んでいきたい。



こもりたふみや 小森田郁也 議員

■ふるさと納税の使途の見える化について

Q

使途の見える化のため、多くの方々の目に触れる事業やハード事業に活用する考えはないか伺う。

A

ふるさと納税は子育て支援や医療費助成等の市民生活を守る事業に多く活用しており、一部ハード事業に充当しているものもある。寄付者に対し返礼品の事業者紹介や花巻の魅力を伝える「サンクスレター」を送付しているが、今後は振興センター等にも配置するなど周知方法を検討し、寄附の使途が市民により見えるような取り組みを進めていく。



はくわい はじめ 櫻井 肇 議員

■高額医療費の上限額引上げについて

Q

国は8月から高額療養費制度の見直しを行い、自己負担限度額を引き上げようとしているが市の見解を伺う。

A

高額療養費制度の拙速な見直しにより、必要な治療が受けられず命を失うことがあってはならないところであり、そのような事態が生じないことを前提に高額療養費制度を見直すことが可能であるか、別な財源を利用することにより、高額療養費制度をどこまで維持できるかについて国民全体の議論を踏まえ、たうえで、国会が検討する。



■水田活用の直接支払交付金について

Q

農水省は水田活用の直接支払い交付金について、5年間1度も作付けしない農地を支払い対象としない方針を撤回したが、見解を伺う。

A

これまでの水田を交付対象とする仕組みから作物ごとの生産性向上を支援する仕組みに転換し、令和9年度以降の水張りは求めないこと。令和7、8年度において、地力維持のための堆肥投入や病害予防のための薬剤散布等による連作障害を避けるための取り組みをいづれかの年に取り組むことで交付対象となる。要望活動の成果が表れた。



にたない かずひろ 似内 一弘 議員

■移住定住の推進について

Q

市の人口動態における社会増減について伺う。

A

令和6年の社会増減について、市全体では38人の転出超過(社会減)となっている。その内訳は、岩手県内の市町村からは247人の転入超過であり、一方、首都圏では178人、宮城県では111人の転出超過になっている。年代別で見ると、大学進学や就職の時期を迎える18歳から24歳の世代において232人の大きな転出超過となっている。



■インバウンドの推進について

Q

インバウンド推進について、市への訪日外国人の現状について伺う。

A

令和6年の外国人観光客入込数は、統計を取り始めた平成22年以来最も多い8万2046人となっている。国別の内訳については、台湾が最も多い6万7184人、香港の5682人、中国の1288人、韓国の881人、タイの623人などとなっている。アジア諸国が多い一方で、アメリカが640人、オーストラリアが254人など欧米諸国は少ない傾向となっている。



きせいち 佐々木精市 議員

■窓口業務について

Q

窓口で出生届や死亡届の手続を行った際に国民健康保険や児童手当等の関連する手続は、ワンストップで対応されているか伺う。

A

死亡届に関しては、担当課が本館、新館に分かれているが、手続の進捗状況を確認しながら、職員が連携のうえ円滑な手続きが出来るよう対応している。出生届は総合案内で用件を伺い、原則ワンストップで受け付けている。今後市民の利便性に繋がる取り組みについて改善を図って参りたい。

■地球温暖化対策について

Q

第3期花巻市役所地球温暖化対策実行計画の取り組み状況と、一般家庭への省エネ家電買い替え補助金の交付の考えについて伺う。

A

実行計画に基づき、温室効果ガスの削減目標達成を目指し職員一人一人が率先して行動している。一般家庭向けの省エネ家電買い替えに対する市独自の補助金交付は、国や県の補助金制度があるので現時点で考えていないが、支援情報の提供に努めて参りたい。



すがわら 菅原ゆかり 議員

■子育て支援について

Q

父親の産後うつについて伺う。

A

子どもが生まれて1年未満に精神的な不調を感じる父親の割合は11%であり、母親の産後うつとの発症割合とはほぼ同水準となっている。妊娠届出時や乳児家庭全戸訪問に妊婦にお渡しする産後うつの予防や見守りに関するリーフレットに、今後、父親の産後うつの状況について情報を追加し、父親の産後うつについて周知を図っていくとともに、こども家庭センターなどの相談窓口も広く周知していく。

■オストメイト(※)に対する理解促進について

Q

オストメイトに対する理解促進について伺う。

A

障がいのある方や高齢者、全ての方が安心して気軽に出かけられ、情報が掲載されている「岩手県ユニバーサルデザイン電子マップ」にも県内のオストメイトイレの設置状況がマップとして掲載されているのでそのサイトの活用も周知する。また温泉など公衆浴場での入浴についてもストーマ用装具を必ず着用する等のルールを守って入浴すれば衛生上問題がないことから一般の方にも周知する。



※オストメイト：様々な病気や事故などにより、腹部に排泄のためのストーマ（人工肛門・人工膀胱）を造設した人



令和7年度
予算審査

令和7年度当初予算審査を3日間にわたり行いました。担当課より説明を受け、質疑を行い、最終日の本会議にて予算を可決しました。市議会が注目した予算は次のとおりです。

図書館整備事業

127万6千円

- Q** 新花巻図書館に係る市民会議の結果と花巻駅前を建設候補地とすることについて報告が議会にあった。情報発信についてはどのように考えているのか。
- A** 議会に報告した内容の資料については、市ホームページで公開済みである。また、3月11日に花巻図書館整備基本計画試案検討会議を開催し、建設候補地も盛り込んだ試案について説明し、案のとおり進めることとした。これについても随時発信する。

岩手中部広域
行政組合負担金

8780万1千円

- Q** 不燃ごみ処理事業が計画していた3市1町の共同事業から2市1町になったが新たな費用負担が発生しないか。
- A** 2市1町になるため花巻市の負担は増える。機械の設備費用はごみの処理量に関わらず変わらないと聞いているが、設備を縮小化し、費用を安くすることを組合に申し入れている。

下水道事業会計

(単位 千円)

収益的収支	
収入	3,529,031
支出	3,642,154
資本的収支	
収入	2,472,125
支出	3,579,948

会計別の当初予算額(歳出)

(単位 千円)

会計別		令和7年度予算	前年度比較増減
一般会計		58,178,625	3,025,301
特別会計	国民健康保険特別会計	8,373,584	68,379
	後期高齢者医療特別会計	2,530,614	100,571
	介護保険特別会計	11,080,133	279,082
	公設地方卸売市場事業特別会計	45,700	△117,785
	産業団地事業特別会計	1,374,146	632,863
	計	23,404,177	963,110
	総計	81,582,802	3,988,411

空家等対策事業

970万3千円

- Q** 空き家対策でマンパワー不足が懸念されるが、どのような考えで予算に臨んだか伺う。
- A** マンパワー不足に関して、新年度予算には計上していないが、空き家等対策の支援法人との連携が当市において有効か検討していきたい。

消防水利維持管理
整備事業

6138万8千円

- Q** 山林火災の際に、水利の部分について課題があると思うがどのような対策をしているのか。
- A** 大船渡のような山林火災を想定すると、防火水槽を使用したり、防火水槽がないときは近隣のダムなどの水を利用して防災ヘリでの消火活動が考えられる。

公害防止対策事業

1735万4千円

- Q** 悪臭苦情件数が令和5年度62件、令和6年度89件と増えてきている。矢沢中学校が義務教育学校設置へと計画されているが対応をどう考えているか。根本的には化製場の移転新築または改善が必要ではないか。
- A** 県には工場設置の不適合があるのではないかと話した。改善勧告が出せないか7年度も検討していく。移転新築が最善であるが企業の単独実施は難しいため、県の支援が必要だと考えている。
- ※工場・施設設置許可権者は岩手県

自主防災組織
支援事業

218万6千円

- Q** 市の防災士資格取得支援補助において、制度創設された平成30年以来、合計で延べ73名が資格を取得した。現在、防災士会は自主的に会の設立を目指している。そのように共同で活動すれば各種災害にも支援拡大が期待できる。市はどう捉えているか。
- A** 各自主防災組織に所属しているので、市は防災士会ネットワークと連携しながら避難・防災訓練を広めていく。

有害鳥獣被害対策事業

8697万4千円

Q 電気柵設置補助や放任果樹伐採補助の予算に関して令和6年の実績見込みを伺う。

A 2月末時点の実績として電気柵 137 件、内個人 122 件、団体 15 件、補助額は 2442 万8千円。放任果樹伐採 56 件、補助額 330 万5千円となる。



医師確保支援事業

1858万2千円

Q 総合花巻病院に医師確保の支援を行うとのことだが、何名を見込んでいるか。今後の状況はどうか。

A 今年度3名を見込んでいる。総合花巻病院の改定事業再生計画に基づく経営改善策を支援するため創設した事業であるが一定程度継続する必要がある。法人の経営状況を見ながら検討していく。

小中学校学区再編成等調査事業

22万円

Q 石鳥谷地域で教育懇談会等を各地域で行い、各小学校 PTA の意見が4小学校を統合することで意見一致したが、今後のスケジュールについて伺う。

A 4つの小学校を1つに統合した小学校にいくのか、または、義務教育学校を含む小中一貫校のいずれかにするのか、保護者・PTA など皆様に検討していただき、次に6つのコミュニティ単位で地域の皆様に協議していただくことになる。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 30	令和7年度花巻市一般会計予算
議案 31	令和7年度花巻市国民健康保険特別会計予算
議案 32	令和7年度花巻市後期高齢者医療特別会計予算

会派名	明和会							はなまき 市民クラブ				緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻 市議会議員団			会派に 所属しない		審議結果			
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇		佐々木精市	菅原ゆかり	
議案 30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決	
議案 31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	可決
議案 32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

令和7年第1回臨時会

令和7年第1回臨時会は1月28日に開かれ、議案はすべて原案のとおり可決、承認しました。

審議した議案	内 容	審議結果
令和6年度花巻市一般会計補正予算(第10号)の専決処分に関し承認を求めることについて	除雪業務委託料の増額見込みに係る歳入歳出予算の補正 *補正額: 1億円増額 *補正後予算額: 638億3,356万2千円	承認
花巻市部設置条例の一部を改正する条例	健康福祉部を廃止し、新たに「福祉部」および「健康こども部」を設置することにより、現行の9部から10部に改めるもの	可決
令和6年度花巻市一般会計補正予算(第11号)	物価高騰への対応に係る歳入歳出予算の補正および繰越明許費の補正 *補正額: 3億6,278万2千円増額 *補正後予算額: 641億9,634万4千円	可決

大迫総合支所庁舎設備改修

2億9106万円

Q 今年は大迫総合支所庁舎の実施計画において空調設備改修を行うとされるが、今までは外国製の木質チップボイラーの空調でメンテナンスが難しかった。今回は作業し易いものにする予定か。

A 今回は木質チップボイラーを更新することと、吸収冷凍機冷却塔等の配管をするもの。前回は国産ではなかったのでメンテナンスが難しかった。今回は作業できるよう規格を定めて規格に合ったものを納入する。



建築物耐震対策促進事業

1478万5千円

Q 岩手県の調査では、花巻市内には723か所の土砂災害警戒区域がある。この中に居住している住宅は全て建築物耐震対策促進事業の対象になるのか。またどのように周知を図るのか。

A 特別警戒区域(レッドゾーン)内にある住家が対象になる。県の調査では花巻市に302棟で旧花巻市64、大迫町184、石鳥谷町5、東和町49棟である。現在、要綱の改正を進めており、チラシが出来上がり次第、県が作成するパンフレット等も活用して周知する。

国民健康保険財政調整基金運用収入積立金

138万9千円

Q 基金積立金に138万9000円の積み立てとあるが、今年度末の基金の額と令和7年度の基金の見込みを伺う。

A 令和6年度末の基金の残高は7億6728万3千円と見込んでいる。取り崩しも含め、令和7年度の基金は4億3177万5千円を見込んでいる。

常任委員会等の活動報告

産業建設常任委員会

- ◆2月19日（水）
 - *「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
- ◆2月19日（水）
 - *所管事務調査「担い手育成について」



- ◆3月11日（火）
 - *協議「今後の活動方針について」
- ◆4月15日（火）
 - *所管事務調査「土澤アートクラフトフェアについて」



議会改革推進会議

- ◆3月17日（月）
 - (1) 特別委員会の委員任期について
 - (2) 会議出席時の服装について
 - (3) タブレット端末の有効活用について
 - (4) ペーパーレス化の推進について

総務常任委員会

- ◆2月19日（水）
 - *「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
- ◆3月10日（月）
 - *所管事務調査「地域づくりとコミュニティ会議の在り方について」
- ◆4月28日（月）
 - *協議「今後の活動について」

文教福祉常任委員会

- ◆2月3日（月）
 - *所管事務調査「新花巻図書館について」
- ◆2月14日（金）
 - *協議「2月3日所管事務調査の振り返りについて」
- ◆2月14日（金）
 - *所管事務調査「学童クラブについて」



- ◆2月19日（水）
 - *「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
- ◆3月10日（月）
 - *所管事務調査「障害のある人もない人も共に学び共に生きる花巻市まちづくり条例について」

陳情審査

議会運営委員会は第1号陳情の審査を行いました。審査の結果、第1号陳情は採択すべきものと決しました。

◆第1号陳情（採択）
新花巻図書館整備特別委員会等の設置を求めることについて

要旨

花巻市議会内に新花巻図書館整備特別委員会等を早期に設置すること

理由

令和2（2020）年、市は「新花巻図書館複合施設整備事業構想」を公表。J R花巻駅前のスポーツ用品店敷地を50年間借入れしての「住宅地付き図書館」建設構想案には、計画の進め方などに市民や市議から指摘や反対の声が上がり、プロジェクトは白紙になりました。

市議会は「新花巻図書館整備特別委員会」を設置し、市民懇談会での市民の意見の聞き取りを行いながら検討を重ね、建設地や複合施設についての意向書を市に提出しました。

令和4（2022）年、建設候補地は、J R花巻

◆審査の経過

審査において委員からは「令和2年12月に行った特別委員会の提言の検証と市民会議に建設候補地を委ねるだけでなく、建設比較調査結果に対する議論をするための特別委員会という内容であれば採択にそぐわないと考えていたが、もっと広く議会として議論する場が必要ではないか」という陳情者の考えであり、その点

駅前（第一候補地）と旧花巻病院跡地の2つに絞られました。市民説明会での「両候補地の事業費の比較検討が必要である」という声を受け、令和6（2024）年にコンサルタント事業者に2つの候補地の調査を委託し、11月に結果が公表されました。

この建設候補地比較資料の意見集約を図る方策として、「花巻市地域おこし研究所」のアドバイザーである慶応大学SFC研究所との協力・連携により、70人前後の市民が参加する「市民会議」を開催することにし、現在も行われてい

では賛同できる」「市民の陳情や請願は政策提言と受け止めている。特別委員会等の設置ということであったが、特別委員会にこだわらないということであり、議員間の自由討議等で検証を求めている。趣旨は理解出来る」「特別委員会の提言に対し、建設場所の決定に際しては、これまで経過及び理由も明確に示されていない。市民の理解も得られておらず、議員間でもっと議論をしながら市民の声にこたえる必要がある」との意見に対し、「新花巻図書館整備特別委員会を早期に設置との陳情に対し、市はこれまでしっかりと特別委員会の提言に基づいて事業を進められてきている。また、一般質問等で、広く議員には経過等周知されており、検証はしっかりと成されてきた」「市民参画においても、市民参画協働推進委員会から適切との評価を受けたうえで、図書館協議会、社会教育委員等の専門的知見から意見を伺い進められてきている」「議会において議論が必要だとの意見であるが、自由討議等は議員間で工夫することでは賛同しかねる」などの意見が出されました。

採決の結果、賛成多数で採択すべきとなりました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、反対多数で不採択すべきものと決しました。

※審議の結果は3ページをご覧ください。

かしわば ひまり
柏葉 日葵 さん
(花巻農業高校3年)花巻市の未来へ
ちょっと一言。もちづき けいぞう
望月 敬三 さん
(大迫町大迫)

花巻の未来を創る

花巻市には、温泉や自然豊かな景観、美味しい食べ物など沢山の地域資源があります。そんな中、若者の人口流出が近年目立っていると感じます。地元で長く住み続けられるようにするには、インフラを整備することが重要です。花巻市には、空き家や空き店舗といっ

た、放棄されている土地が増加していると思います。その対策として、空き店舗を生産物の販売や、遊べる場所として活用し、誰もが充実できるスペースをつくらば良いと思います。そうすること、県外へ行った人がUターンし、より一層、花巻市が活気のある街へ生まれ変わると私は考えます。

大迫地域の過疎化と高齢者

地域づくりには私たち市民と行政自体との意見交換、また将来を担う子どもたちの存在が必要と感じています。移住者として目に映ったものの災害・環境・安全には充実しているのか？雪が降り除雪をしても町中では、雪を捨てる所がなく道をふさいでいる状態で危険。環境の面では、空き家対策に積極的に対

応願したい。安全には、交通手段から高齢ドライバーの運転が心配です。ですが車社会という観点から返納が難しい事、用を足すには車しか移動手段が無いので乗るなどは言えないです。町の活動意欲を向上させるには行政の力が必要でしょう。花巻全体の発展には町の発展も必要。

議会の動き 2月～4月

- 2月3日 文教福祉常任委員会
12日 広聴特別委員会
14日 文教福祉常任委員会、
花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
19日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会、産業建設常任委員会、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
21日 広聴特別委員会
2月26日～3月19日 令和7年第1回定例会
26日 議会運営委員会、広報特別委員会、
花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
3月6日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
7日 議会運営委員会
10日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
11日 産業建設常任委員会、議会運営委員会
12日～14日 予算特別委員会
17日 広聴特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会、議会改革推進会議
19日 議会運営委員会
4月2日 広聴特別委員会
4日 広聴特別委員会
7日 議会運営委員会
8日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
11日 広聴特別委員会
15日 産業建設常任委員会
16日 広報特別委員会
25日 広聴特別委員会
28日 議会改革推進会議、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会、総務常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【3月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 94人

【6月定例会】

5月30日（金）開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FMQJG 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を送っています。

【広報特別委員会】

委員長

羽山るみ子

副委員長

小原 保信

委員

小森田 郁也

鹿討 康弘

及川 恒雄

伊藤 忠宏

佐々木 精市

櫻井 肇

阿部 一男